

KiKiの広場

2012年 7月 1日

cafe NO.21
KiKi



今年の梅雨明けは昨年に比べると随分遅いとのこと、雨量も所によってはかなり多いようです。このあたりはたいした被害を受けていませんが、すでに大きな被害を受けているところがたくさんあります。何もなくて、「あーよかった！」と安心するだけでなく、どこかで苦しみ悲しんでいる人がいるということのを心にとめて、日々の生活に感謝しながら過ごしたいと思います。優しく降ってねと祈りながら。

・**夏季限定メニュー再登場!** 昨年とっても人気のあった「マンゴージュース」**350円**です



同じく好評だった「マンゴークーキ」は、今年はないそうです。(KEY COFFEE さんより) 残念!!



7月の予定

10日(火)

休館日



「今月のケーキ」・・・「アフリコッタルト」**300円**



クッキー生地タルト台に、アーモンドクリームとアフリコッタートをのせて香ばしく焼き上げた、甘酸っぱく爽やかな味わいのタルトです。



今月のお気に入り・・・「夏だね～!!」っていう本」

～「ウエズレーの国」「はちうえはほくにまかせて」「ガンピーさんのふなあそび」「スイミー」「みずまき」などなど～



夏休みは、いくつになってもワクワクするもの。子育て中の親にとってはついに来たかー!と感じかもしれませんが、その年の夏は一度しかありません。やはり心に残る特別なものであってほしいですよね。「ウエズレーの国」は、変り者と思われている主人公が、すばらしい自由研究を思いつき、「自分だけの文明」を作り出すという壮大な物語です。不思議な作物を育て、その植物を食べるだけでなく、服・帽子・寝る所、そして遊び、文字まで作ってしまう。最後がまたステキ!なんです。真夏の暑さの中、実に爽快な絵本です。「どろんこハリー」の作者コンビの「はちうえはほくにまかせて」は、アメリカならではのとっても楽しい本です。青と黄、それを重ねた緑だけを使った絵は優しくて、植物の生命力が美しく描かれています。



今月の本棚・・・「虫の世界」

～「アリからみると」「だれだかわかるかい?」「むしのあいうえお」「庭仕事の素敵な友だち」「ほったくん」などなど～



アリの世界を体感できる「アリからみると」は迫力満点の写真絵本。同じく写真絵本の「だれだかわかるかい?」の表紙は、照れくさそうに頭をかいているような表情豊か(?)なクビキリギスのなんとも愉快的な顔が。いろいろな虫の顔のドアップが出てきますが、まさしく「仮面ライダーだー!」て叫びたい写真も。その昆虫写真家の今森光彦さんの切り絵の昆虫図鑑「むしのあいうえお」は、緻密で繊細、素晴らしいの一言です。俳句調のリズムのよい言葉が添えられており、子どもも大人も楽しめます。



ほっとフライク

先日「KiKi」が、県内には珍しい絵本カフェということで、ある情報番組の取材を受けました。私たちが週2回通っている小学校での読みがたりの様子も撮影されたりして、3日間に及ぶ取材でした。



店内では、3組の親子連れのお客さんが、わが子に読んでおられる様子や、子どもたちが1人で読む姿、2人で1冊の本を一緒に覗き込んでいる様子、たくさんの絵本の前でいろいろな本を手にとって、どれにしようか悩んでいる姿などを撮られていました。

その中で2年生のNくん向记者の方がこんな質問をされました。「このお店のどういうところが好きですか?」虫が大好きなNくん、「科学する心の絵本」コーナーからよく昆虫図鑑や虫に関する本を選んで見ているので、そういう系の答えが返ってくるかなと思っていたら、なんとNくんの答えは、「おいしい。」でした。(笑!)

ロールケーキがお気に入りということで・・・Nくん、いい味出しています。＼(^。^)/

